

令和8年度施策評価シート（評価対象年度：令和7年度）

基本政策 【分野】	災害や危険から命と暮らしを守る強くしなやかなまちづくり 【防災・安全分野】		施策	02_消防・救急	所管部長 取りまとめ所属	消防長 消防総務課	
施策の内容	火災をはじめ、あらゆる災害から市民を守るため、消防施設や資機材等の適切な整備とともに、救急救命士の養成等の人材育成に取り組み、消防・救急体制を強化します。 また、火災予防や救急車の適正利用など、市民一人ひとりの消防・救急意識を高めるため、必要な意識啓発や支援を推進します。						
めざす姿	迅速かつ的確に対応できる消防・救急体制が整い、火災をはじめ、あらゆる災害から市民の生命・身体・財産が守られています。						
重点事業							
施策構成事業	火災予防事業費		応急救援体制強化事業費		消防職員研修費		
	消防本部・署施設整備事業費		消防車両等整備事業費		消防本部・消防署本署庁舎整備事業		
評価							
進捗評価	概ね順調	評価の 判断理由	消防本部・消防署本署庁舎整備事業では、若手職員を中心とした作業部会を6回開催し、新消防庁舎に必要な機能や設備の検討を進めるとともに、移転候補地における課題等について関係各課との調整を行うなど、計画どおり事業を推進しました。 また、消防本部・署施設整備事業では、神奈川県消防救急デジタル無線共通波設備における基地局無線装置及び回線制御装置の更新整備工事が計画どおり完了しました。 さらに、応急救援体制強化事業において救急救命士を養成するとともに、消防車両等整備事業では西分署水槽付消防ポンプ自動車及び消防団小型動力ポンプ付積載車を整備するなど、消防力の維持・向上を図りました。 加えて、各種イベントにおいて市民への防火・救急啓発活動を実施するなど、計画した取組を着実に実施できたことから、構成事業全体として概ね順調に進捗しているものと判断しました。				
施策推進上の課題・ 環境変化	消防本部・消防署本署庁舎整備事業は、具体的な移転候補地が選定されたものの、伊勢原駅北口再開発や都市計画道路田中笠窪線整備事業及び、文化会館改修事業等の進捗状況や財政状況を鑑みながら、スケジュールの調整が必要になります。 救急車の適正利用に関しては、各イベントなどでPRはしておりますが、年々救急件数は増加しており、特に夏場に出動過多となる救急需要への対応に課題があります。						
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	概ね順調	概ね順調	概ね順調				
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策 推進方針	消防本部・消防署本署庁舎整備事業は、具体的な移転候補地が選定され、消防・防災以外の機能移転など様々な選択肢を含め実現に向け検討していきます。 その他の事業は計画どおり進めていきます。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 9
指標の定義		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値(方向性)
出火率	2.8件 (H29-R3の平均)	2.1件	2.8件	4.1件			↘
人口1万人当たりの出火件数							
消防団員の充足率	97.1% (R4)	96.2%	94.8%	94.8%			100%
消防団の条例定数に対する団員数							
消防・救急体制に対して安心感 を持つ市民の割合	55.7% (R4)	60.5%	56.2%	59.3%			↗
市民意識調査で「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と回答した人の割合							
重点事業の取組内容							
事業名	—						
事業内容	—						
取組工程	項 目	令和7年度					
		計画			実績		
	—	—			—		
令和7年度 取組内容	—						
重点事業以外の取組内容							
令和7年度 主な取組内容	消防本部・署施設整備事業では、選定された移転候補地で生じる課題等を関係各課に確認しました。						